

3月8日（金）夢

どうとく^{どうとく}で^{べんきょう}勉強する^{はなし}話には、^{どりょく}努力して^{ゆめ}夢をかなえた^{ひと}人や、^{もくひょう}目標を^{たっせい}達成した^{ひと}人がたくさん出てきます。



6年生^{べんきょう}が勉強した^{はなし}話「夢」には、^{やきゅうせんしゅ}プロ野球選手になる^{ゆめ}夢がかなわなかった^{しゅじんこう}主人公が^{とうじょう}登場します。この^{しゅじんこう}主人公は、^{とも}友だちからの^{さそ}誘いを^{ことわ}断り、^{れんしゅう}けがで練習できない^{ゆめ}ときには、^{なかま}仲間の^{せわ}世話をし、^{ゆめ}ずっと夢をかなえる^{どりょく}ために努力します。それでも、^{やきゅうせんしゅ}おいしいところでプロ野球選手には、^{なれなかつた}のです。そんな^{しゅじんこう}主人公を、^{おも}どう思う^ででしょうか。

6年生は、^{ゆめ}夢がかなわなかったけど「^{こころ}くじけない^み心^が身についた」「^{だいじ}大事な^きことに^{かんが}気づいた」と考えました。「一つの^{もくひょう}目標^むに向かって^{どりょく}努力した^{せいちょう}ことで成長^{はっぴょう}できた」と発表してくれました。子もいます。「^{ゆめ}夢^むに向かって^{とく}取り組んだ^みことで、身についた^{こころ}心^{いけん}がある」という^{ゆめ}意見^みもありました。「夢はかなわなくても、^{あた}新しい^{じぶん}自分^{つく}を作^てってくれる」という発表もありました。

^{ゆめ}夢、^{もくひょう}目標^もを持って、^は張り切^きって^{せいかつ}生活^{だいひょう}している^{おも}扇っ子の^{いけん}代表^{おも}の^{いけん}意見^{おも}だと思^うと、^{おも}とっても^{おも}うれしい^{おも}です。